

青木 繁議員



町内業者と摩擦のない

メニューを!

今年3月にケープ真鶴に遠藤貝類博物館がオープンした。それと時期を同じくして以前より来訪者に行ってきたアンケート調査をスタッフが直接聞き取りした結果、レストラン貴船のメニュー刷新をしたとの事であるが、町内飲食店業界と摩擦の生じることのないよう、どのように運営されるのかを伺う。

ケープ真鶴で実施したアンケート結果やお客様より直接伺ったものに「刺身定食をはじめとする魚料理をもっと楽しみたい」「メニューをもっと増やしてもらいたい」等の意見がありました。そこで、ケープ真鶴で提供する料理につきま

ては、経営状況の改善を目的とするだけでなく、お客様の喜ぶ笑顔、声を重視し、観光客の期待に応えるべくサービスの充実を図るためメニューの見直しを行い、5月下旬より新メニューによる営業を開始したところであります。

また、こうしたサービスの充実により、リピーター効果も期待しています。

なお、町内の飲食店の皆さまには、同じサービス業を営む者として、この店の取り組みの趣旨を

ご理解していただけるものと存じており、お互いにとってプラスとなる効果が得られるものと考えています。

メニュー内容に舟盛り等の追加の考えはあるか。

町内業者の方々との競争を避ける努力をしながら運営していきます。

また、お互いに切磋琢磨しながらの企業努力も必要と考えております。

貝類博物館オープン時には新たなビクターセンターとしての活用を考えた話

だが、その機能の充実を図る予定はあるか。

ビクターセンターの活用は来場者数等を考慮し検討していきます。



おいしそう!

一般質問

岩本克美議員



JR真鶴駅北側斜面地に繁殖する雑木の処理について

真鶴駅北側、線路沿い斜面には雑木が生茂っている。このため周辺の住民生活に、落ち葉や日照不足、野生動物の出没など、多大な悪影響をもたらしているが周辺住民からの強い要望により平成20年12月1日付文書で町長宛にJRへの折衝を要望している。既に1年6ヶ月経過し、未だに手付かずの状況が続いているが、安全・安心な町を目指す真鶴町として何らかの対応の必要があると思うが、今後の対応について伺う。

JR東日本横浜支社との協議の中で、予算の確保ができれば次期施行したいとの回答を待っています。

これについては『議会だより』の編集集中にJR東日本横浜支社に於いて、とりあえず半分の予算措置が整い、工事が行われました。残り半分は後日となるが、注目していきたい。



工事が半分修了した現場
H22・7・18 撮影



工事着手前の状況
H22・6・5 撮影